

# 基幹（販売管理）システムのリフォーム

PDFtoCSV変換サービスによる受注データ入力の改善

2021/06/25

WebServiceDevelopment Inc.

# 1. 現在のデータ入力のAI-OCR x RPAによる流れ

- (1) データ入力のAI-OCR x RPAによる流れはどこからきているのか？
- (2) 基幹システムを刷新する体力がない
- (3) AI-OCR x RPAの導入は、現在の基幹システムの延命



つまるところ、応急措置にすぎない

## 2. データ入力のあるべき姿

- (1) データをアナログに変換せず、デジタルtoデジタルで処理
- (2) PDFをメタ・ファイル交換フォーマットとして利用
- (3) 書類の中の解析で、画像の座標情報は使わない
- (4) データの意味付けや文字認識にAIによる解析は不要

### 3. データの入手と取り込み

- (1) EDIの場合、受注データをPDFで保存
- (2) FAXで受信は、E-mailでのPDF受信に業務を変更
- (3) データ取り込みは、PDFファイルのDrag & Dropで完了

## 4. PDFtoCSV変換サービスでの機能

- (1) データ変換の他、データの確認、修正機能を提供
- (2) 受注データの履歴を取得
- (3) 過去の受注データの検索を支援

## 5. 基幹システムへのデータ取り込み

- (1) 基幹システムへのデータ取り込みを可能とするために、  
基幹システムの、リフォームが必要
- (2) 基幹システムに受注データのインポート機能を追加

## 6. 業務フローの改善

- (1) 手入力による入力ミスの確認作業が無くなる
- (2) 併せて、業務フローを見直し
- (3) イレギュラーのデータは、基幹システムに渡す前に処理
- (4) もしくは、イレギュラーのデータを分離して個別処理

## 7. 業務の見える化支援サービス

(1) DFDによる業務フロー図の作成

(2) 業務のタイムチャート図の作成

(3) 業務マニュアルのVideo化



## 8. 業務改善の確認

- (1) 導入前の業務フローの確認と作業時間の測定
- (2) 導入後の業務フローの確認と作業時間の測定
- (3) 業務フローと作業時間の評価

## 9. まとめ

- ・ 正攻法による業務改善の手順を提供
- ・ 業務フローの改善による、作業時間の短縮
- ・ 業務の見える化による、業務改善の洗い出し